

# 文化交流史Ⅱ

科目ナンバリング HSG-102

選択 2単位

保田 那々子

## 1. 授業の概要(ねらい)

我が国の文化は諸外国との交流のなかで形成され、また他方では諸外国へ影響を与えてきた。この授業では装いと意匠に焦点を合わせ、文化交流が日本文化へ与えた影響と、日本文化が諸外国へ与えた影響の両面を概説する。原始から近代に至るまでの経過を概観していくため、通年での履修が望ましい。なお後期では中世から近代までを扱う。

## 2. 授業の到達目標

- ①中世から近代までの対外交流による日本文化への影響、他国文化への影響を説明できる。
- ②日本の装いの変遷を対外交流の観点から説明できる。

## 3. 成績評価の方法および基準

【修正あり】

- ・期末試験40%(到達目標①②)
- ・中間テスト25%(到達目標①)
- ・ワークシート25%(到達目標②)
- ・出席10%(2/3以上の出席必須)

※全体の60%以上で合格＝単位獲得

※期末テストよりも通常の授業での学習成果を重視する

※期末試験を受けないと単位がとれないが、期末試験だけを頑張っても単位がとれない

## 4. 教科書・参考文献

教科書

教科書・参考図書ともに使用せず、プリントを配布する。

## 5. 準備学習の内容

- ・日本史の知識が前提となるため、授業前に復習をしておく。
- ・授業プリントやノートを見返して復習する。
- ・関連する展示があれば授業中に案内するので、足を運ぶことが望ましい。

## 6. その他履修上の注意事項

質問やリアクションペーパーを通じての積極的な授業への参加を期待する。

私語など、他の学生の授業参加の妨げとなる行為がある場合、退出を命じることがある。

## 7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス(前期の復習)
- 【第2回】 変化する戦国方法
- 【第3回】 倭寇と日明貿易
- 【第4回】 南蛮文化と大名
- 【第5回】 かぶき者
- 【第6回】 キリスト教と美術
- 【第7回】 鎖国中の日本とヨーロッパ
- 【第8回】 鎖国中の日本とアジア
- 【第9回】 アイヌ・琉球の装い
- 【第10回】 異国船来航と漂流民
- 【第11回】 お雇い外国人と留学生
- 【第12回】 女性旅行家が見た日本
- 【第13回】 ジャポネズリとジャポニスム
- 【第14回】 まとめ、期末試験
- 【第15回】 【LMSによる追加授業】装いのジャポニスム(掲載時期は初回授業で告知する)